

# 「多次元押出ブロー成形法」が期待される

## 「ロマン」を大切に

成形加工 独自のものを持つこと

五面からつづく

中川 ただ、現実にはやろうとすると、強いお客さんに反抗しようというのでは決しないのですけれども、精神的にはイフンに近いものにするためにはなにかを持っていなければいけない。それがなにかにはどうしても押さ

れてくる。機械を更新できないくらの値段でやっているのが現状で、これではなんのためにやっているかわからない。自分が知恵を出して、汗を流して働いた分は、何も必要以上に儲けようとかいうことじゃないんだけれども、やっぱり報われないといけないと思っんです。そのためにはほかで大きなことを持つことが第一です。

本紙 ロマンが持てる企業でもね。うちの連中はロマンを大切にしたいと考えているのでりたいたいことですね。  
にしている。私もさきいつて連れす。  
中川 お金も勿論必要だけれどてきた手前があるからこれだけは

### やりがいある苦勞

これから開発に頑張る！

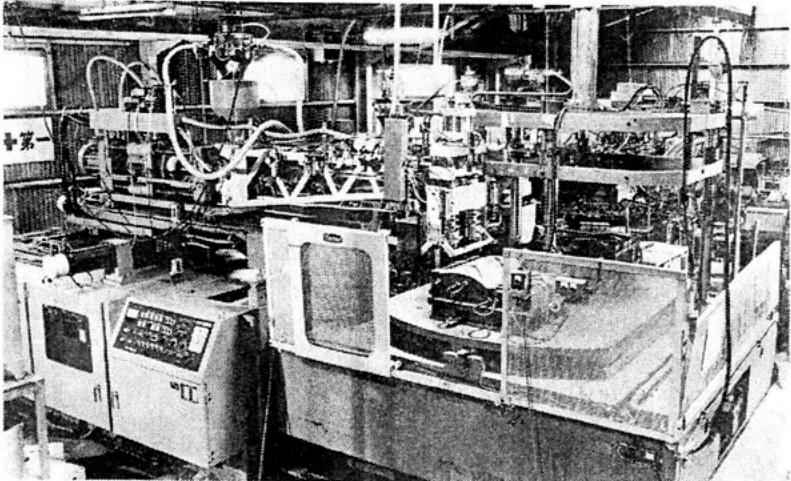
小松原 お正月にある家電メーカーの方から聞いたんですけれど派な仕事はできませんね。

中川 テリトリとか、そういうのはたんだんなくなっていくと

新、美、構造の機、それと感性、感受性を忘れちゃいけない、感性は文化に通じる、そのサイクルで家畜製品を考えないと受けな

江崎 ロマンのある苦勞はやり

合わせて技術開発はやる気のサイ  
本紙 佐藤さんと江崎さんにも  
やれないものはないのだから……



無限の可能性を秘めた「多次元押出ブロー成形装置」

(笑い)。  
本紙 どうも長時間にわたって  
ありがとうございました。  
(おわり)